

国語プリント No. ()

配布日 月 日 曜

年 組 番 名前

現代文卒業作品 2008

高校を卒業すれば、今後今まで十年以上かけて受けてきたような国語の授業はありえなくなる。そこで、今まで学んだ国語の力の集大成として、卒業作品を完成させよう。

なお、この課題はそのまま学年末考査の点数に繰り入れることにする。

次の ・ の課題から一つを選び、四百字程度でまとめなさい。

ラムネ氏のこと

「ラムネ氏」：「幾百十の頓兵衛(P208)」・「茸とり名人(P209)」・「戯作者(P212)」の四名のそれぞれの同じ点、違う点、(誰と誰がどういう点で同じか、誰と誰はどういう点で違うかなど)を挙げ、坂口安吾はこれら四名(四種類の人たち)を紹介することで、何を表していると受け取ったのかを論ずる。

赤い繭

「繭」は何の象徴か。「縄(P216)」・「女(P217)」・「彼(P220)」の正体は何か(何を表しているか)を明らかにし、安部公房が「繭」は何の象徴として描いているかを論ずる。

締め切り

二〇〇八年一月二十五日(金)午後五時

このときにノート点も集計するので、提出がないとノート点0点となります。

補足

三学期の成績について

ギル・ノート点・この課題(考査20点分換算)

学年末考査

言語楼(10点)・漢字の読み書き(10点)

「この一年間、『現代文』の授業に関連して、『生きるために必要だ』と学んだこと」千字作文(50点)